滿洲日報

本紙代價定價
一枚 四分
一ケ月前金 八十錢
半ケ年仝 四圓八十錢
一ケ年仝 九圓六十錢
郵稅無料

廣告料
五號活字十九字詰 一行一回二十錢
四號活字十四字詰 一行一回三十錢
二號活字九字詰 一行 四十錢

本報價目
一號 四分
一月 八角
半年 四元八角
全年 九元六角

告白刊費
一行五號十九字 一日登十日者每行二角
一日者每行一角五分
每日每行一角登長年者
價四

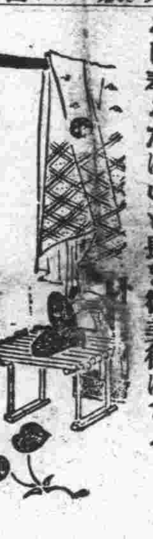
營口中盛街（電話二九番）
滿洲日報社

天長節頌文

懿乎鎌哉搏桑萬里騰旭曜之光輝蓬嶠二峰絢櫻花兮爛熳毓東方之秀氣人盡鍾靈吸西國之文明治皆進化邦交益輯聘使常通乎歐美澳非德澤旁敷聲敎漸被於東西南朔國民振尙武之精神血族混一皇室有獨尊之統系祚延萬年此肇基鞏固獨占優異於全球者也天皇冲齡踐祚綜攬綱紀夙夜決幾天錫智勇創除幕府之威權廓清弊政之積習頒行憲法期以十年永固邦基獨有千古無風潮之衝突而組織自完非臣庶之要求而幸福愈徧謀敎育之普及農工商發達並形策財政之充盈路礦林取携不盡振軍威於海陸增疆土於版圖野無游手之民路鮮拾遺之盜此內政之親裁有以致之也至於英美以商戰勝寰瀛獨佛以侵略蹙列國勢力直趨於東亞近益擴其範圍利權獨握於五洲尙每思乎進取天皇以三島之地逐羣雄之間英則久約聯盟美亦號稱敦睦佛則欲結同契獨亦相處和平此外奧比意瑞無間交通葡荷土西同修聘享此外交之進步有以致之也知超萬物而謙抑爲心識邁羣倫而張皇不事接遠臣以禮樽俎亦覺有光馭羣下以恩區市均蒙其惠聖神文武道備於厥躬雨露風雷德周乎宇內此天皇之文德日臻上理者也夫先王耀德不觀兵而農隙亦重講武盛世有備而無患而井制不廢車徒矧茲競爭時代劇烈舞臺無堅甲利兵卽形劣弱恃玉帛揖讓莫輯憑陵天皇早鑒及此海部陸軍設專省以資統馭春蒐秋獮勤簡閱以壯軍威故甲午之役先戰勝於同洲同種之邦甲辰之師繼摧陷乎至大至强之國鞭箠可使主權及辰韓馬韓利益優沾國力伸南滿北滿弱鄰已被其扶植强敵亦就我範模此天皇之武功震耀當世者也綜此數端固不足仰贊高深盡聖君之雅化復不能稍窺崖略傳令辟之精微亦僅以管蠡之思效臺萊之詠焉拜手稽首鼓舞欣躍書之於簡端

竹の園生

瑞雲棚に蒸し祥日山に麗かに天もまた本日の大節を祀し、聖壽の萬歲を祈りまつれるに似り、吾人は先づ筆硯を淨ふして、寶祚無究をいのり奉り、ひそかに洩れ承はれる竹の園生の緣り深きところ彌繁りに繁り彌榮へにさかへ給ふ迪の宮淳の宮光の宮三皇孫殿下の御近狀を記し奉らん、さる程に天高く氣澄める今日此頃三殿下には愈よ健やかに渡らせ給ひ中にも光宮殿下には御體二貫八百匁の上に達せられ偶ま御姿を拜し奉る者共は兄宮殿下に坐さすやと覺ゆるはかり然れは御歩行の砌りに召し給ふ御履物の如きも兄宮殿下と略同じきものを用ふとかや、扨又た迪宮、淳宮兩殿下には朝な朝な兩陛下幷に御父君御母君兩殿下の尊影を御拜あらせられ午前九時と申すに山階宮芳麿王殿下を始め松平侯爵の令息四郎氏以下渡邊、河田、三宅、久松、千田、稻葉、加藤氏等の御學友(芳麿王殿下を除く其他の御學友は四名宛隔日に伺候する定なり)を隨へさせられ御所內なる幼稚園にて御教育を受けさせられ午後は御所內の御庭にて御運動あらせらるゝか或は濱離宮、新宿御苑動物園等へ成らせられ時には淺草の花屋敷へも御微行あらせらるゝ由此の行啓は主に實物教育を受けさせ給ふ爲めにして濱離宮お成の時には網を引きて御覽に入るゝ事などありつい此ほど同宮へ行啓の時、兩殿下は漁たるボラを御覽せられ「海に居るボラか如何して此處に入つて來たか」とのお尋ねあり、又先頃新宿御苑に栗拾ひに出てさせ給ひし時は苑內の畑より里芋を握らせ「此實は如何して結ぶのかと」問はせ給ひしなと何事にも深く元を究めねは甘んじ給はぬ由、又風雨烈しき日には御學友侍女なとをゝ相手に鬼事、隱ゝ坊に興せさせ給ひ玩具は先頃まで幻燈、活動寫眞幷に獅子、虎象なんとの形を好まられしも昨今は体操若くは相撲なと取らせ給ひ偏へに快活なるおん遊びを爲し給へは第三の宮も御兄君に倣はせられ珠玉の御手に旭日の小旗打振りつゝ廻らぬお舌にて「萬歲」なと叫び給ふとぞ次にお召物の事とも承はるに光宮殿下には筒袖又は袖付の和服を召させ給ふも兄宮兩殿下には午後御入浴の際までは多く水兵服を召させられ御食事は兄宮兩殿下には御晝餐に少量の西洋料理を奉るの他重に日本料理を供し奉り光宮殿下には牛乳の他に魚類の料理にて粥を侑め奉る由又た迪宮、淳宮兩殿下の優れて聰明に渡らせ給ふは去月十九日五二會其進會場へ成らせられ動物玩具野菜標本繪葉書空氣銃等約二百余點御買上の上還御遊はされたるか御巡覽中階上美術室にて暫時御休憩遊はされたる外長き二時間を毫も御疲れの御樣子なく始終御活潑に御徒歩あり玩具店の前に至れは莞爾やかに出品を御一覽ありて御氣に召したる品あれは是をと御指し遊はされ御附の者より宜しうござゝますと申上ぐるを聞かれて次に御移り遊はされ決して下樣の小兒の如く手に取りて離さぬなといふ事はなく御撰ひに相成る玩具は主として獅子、駱駝、鰐、犬、鴛鴦なとの動物にて獅子は特に御氣に入りたるやに拜しまつれりされと物の外箱に並へたる野菜標本は御好みありあれこれと御撰りになく容器を御指遊されて是を皆と仰られ組にてお買上相成り繪葉書店の前に御立ありてあれをと仰せらるゝ御用品は何れも軍人繪の勇ましき物なりしと始終の御態度御行動の快活に溫和に氣高く在す樣は決して五歲六歲のお年とは思はれず御案內申上げたる理事委員等は事每に感極りて淚に咽ぶ許りなりし中に別けて尊く拜し奉れるは兩宮殿下の御睦まじき御樣子と此の、御同伴なかりし御弟宮光宮殿下に對する御愛情にて玩具繪葉書なと御求めの度々是は光宮へ、是も光宮へ、と仰せられて特に御撰ひなりしもの甚だ多く嘸喜び給ふならんと仰ぎ奉り御機嫌特に麗しかりしとなん記るし奉るだにいと畏き御美德にてこそ



滑稽 梨下の冠 （上）

のゝさん

明けく治まれ御代の光は外國まで輝けとも疑ひの雲闇をくぐりて部屋の內さへ迷ひにさまよふは人の常なるかや、今日しも我か天長のうれしき賀節をは占領地の營口に祝し、菊の盃かはりに醉ひ、紅葉のにしき顏に散らし、巖となりて苔蒸す道を千鳥足に千代に八千代を唱歌しつゝ歸途いそがぬそが中に與太郎となん呼へる若い者一しは御機嫌眼鼻に湛へ、トある格子をトン〱〱、御新造さん今歸りあした今日の祝賀はエレーもんでしたよ、身体が小さくも日本はサスガにやることはヱクイでさア、それはそうと此方の親方は歸途に某料亭へ寄ると云ひやすから拙者は一足先きに歸りやしたと何時にない御叮嚀な頭の下け樣にむげにも排ね難くそれは何より結構てござい升たお天氣も如何かと心配したに思つたよりは營口日本晴れ、マア御かけなされて一ぷくとそらさぬ新造の愛相に與太郎莞爾し、思つたより營口日本晴れとは出來ましたよネ、ヲは遠慮は却て不沙汰ドリア留守の間に飲み候はん、これは忝くも天長の賀節に拙者が占領品にて候ザ盃を御貸し候へと唐棧羽織の下より取出したる正宗の瓶二本、何と御新造さん拙者の御手際は、とヤヒヤなれとこのまゝてはカンじがないに依てこゝは德利御勘考といふことに致したいとイヤに御神輿を据えらるゝに、新造も今さら御歸りなさいとも云ひかね有合ひの鑵詰など並べ、早ういなしやれと焦れ共お目度い與太のお尻が動かぬお代の礎のみかは、かねがね疑ひ深い嫉妬に張い親方の若しや此塲に歸りなば、又しても擂鉢茶碗の礫の雨、いくら天長節の夜ても諸道具の舞踏は面白うはないとヘラ〱思ふ折こそあれ、オー 鳴左衛門、いやなに女房共今戻たぞよ出迎太儀〱と表戸叩くは確かに親方、新造は元より與太も驚天逃けんにも裏路なくうろうろあわてふためくを新造の氣轉、手早く與太を毛布にくるんで隅に押しやるところへ、ヤイ嘸何を愚圖〱して居るこの酒肴はドコの奴郎に飲ましたやい、否や否やその言譯暗い〱シテ又あの毛布の包はアリヤ何ぢや、何といはるゝ、濫褸とやな、テモあゝしわな！隱に巫山戲て陰に匿るゝサテは只の鼠ぢやあンめいがなア、否や今晚は芝居も寄席も行き度くないでは小便と申すか、否や小便も出度くはない、出たい時はこゝにする、何でもアノ毛の變化の正体見ぬ中は親方とも云はるゝ乃公の顏が立たないわい、若し其方にステクヮルが籠城の手術あるならは此方にも乃木大將が攻落の方略がある、見事逃られるならは、逃げて見よと眼を怒らして毛布の包を睨め、機會を計つて化物の正体顯さんづる勢ひに毛布の中には與太が手を合掌せ、新造はハラハラ生きたる心地もせす今さら思案に泣いじやくりよその見る目もあはれなり。

（下）

斯る折しも町內では强きを挫き弱きを太助親分が外からの掛聲、オイ權もう歸つたか思の外早かつたなとの機を便りに新造嚇け出て、親方どうぞ助けて下さんせといふもオロ〱青者がほに親方は拳固て一つ鼻をこすり、又しても夫婦喧嘩か夜會の積りて巫山戲るのも大概にしたが可いと逃けるを捕へて新造は、親方實は斯う〱した譯て此塲が若しも治まらねば身に着る濡衣は乾かすに由もあらうけれと亭主の憤怒の怖ろしやゝ涕に聲も枯柳風にもまるゝいとしさを親方も氣の毒がり、困つたことが出來居つた梨下に冠瓜田に靴愼んだかよい、兎に角一つ樣子を見てやろうと坐敷に上り、オい權手前は先刻の大騷動を知らねいのかアレを知れねいとは餘程貴樣も呑氣ものだなソレ手前の友達の八の野郎の留守の所へアノ鈍馬の與太かやつて來て新造を相手に飮んで居つたのよ、スルと八が不意に歸て來たまで周章てゝ與太を毛布にクルンで匿したのは宜かつたが、八の野郎は有名な嫉妬家ちやろうダものだからコイツは何ても嗅が怪しいといふので管を卷いて毛布を眺め、新造か幾程騙して八を外へ引出そうとしても許かないので、モ少しすると大きな濫褸か毛布の中から出そうであつた所へ乃公か這入り込んたのでヤット治まりを付けて來たんだその、方法を聞かせろといふのか、ウン聞かしてやろう御新造一寸風呂敷を貸しな、成るへく大きいやつだよ、それから權手前も一寸頭を貸せ、いゝか能く見て居れよ先づこの風呂敷を奴の頭に斯ういふ風に被せたのた、どうたい貴樣外か見えるかウヽ見えちや不可え、ジャ二枚に折つてグルグルッと斯う被せたんた、そこで奴を更に斯う轉かして膝てギウッと押し付けた、ネイ權少し痛くても辛抱して動くなよヨイカそれから乃公かお新造サア今の中に早くアノ毛布から鈍馬を出しておやんなさい、何をぐづぐづして居るんだ與太の馬鹿も以そそんな眞似をすると其儘には置かんぞ、サアまごまごせずに下駄を間違ぬ樣に、とんなお辭儀なそはしなくも可い、モー往つたかソレで安心と云つて斯う風呂敷を解いてやつたのた何と上手かつたろう權權は眼を擦りながらナール程流石親分た！ウトウ濫褸か出ないなア。

祝天長節

香水石鹼 化粧用品一式
ネクタイ 三越呉服店製
ワイシャツ 服部ワイシャ部製
帽子 禮帽山高中折鳥打
手袋 皮及毛製
シャツ 各種
モヘル 各種
白毛布 茶及鼠色各種
毛布團 各種
旅行鞄 新形品各種
靴 最新形
肩掛 本年最新流行品
造花 御進物用御見舞用
窓掛 各種及附屬品
テブル掛 各種
瓦斯ランプ 各種
西洋道具 御好みに應調製
其外洋服附屬品

營口
三友洋行
電話百五十四

壽辭

軍政官　奥倉喜平

恭しく惟みるに叡聖文武なる
明治天皇陛下大統を繼かせ賜ひしより茲に三十有九年稜威八荒に光被し仁慈四海に波及す疆域南北に伸び國勢東西に張り内外均しく瞻望して謳歌す今本職此地に於て日章旗の下に三度
天長の佳辰に遭遇するを得たるは在留六千同胞諸士と共に誠に深く光榮とする所なり吾人生れて祖宗以來未だ曾て有らざるの盛代に民たり幸眞に大なり須らく奮勵以て　聖恩の宏大に報せざるべからず殊に身異境に在り列國環視の裡に事業に從ふ者に於ては其一擧一動咸な國家の體面に影響する事尚は兵を執て敵に對ずるに異ならず故に造次も亦た國家を念頭に置き同胞互に相扶け相勵し力を協せ心を一にし以て國力の發展に貢獻する所なかるべからず
茲に佳辰に際し在留邦人諸士と共に
聖壽の無疆を祝し奉り併せて在留邦人各位の將來の祝福を祈る

倫敦電報

●非律賓の議員撰擧（卅一日發）　米國大統領ルーズベルト氏は此度新たに開設すべき菲律賓議會議員の撰擧期を來春と決定せり

●死刑執行（仝上）　露國ピーター・スボルグに於て去る十月廿八日の爆裂彈騷働に關聯せる八名の者は軍律に據り死刑に處せられたり

●佛艦派遣（仝上）　佛國の利益保護の爲めに增遣されたる同國軍艦はタンジールに到着せり

●日英同盟質問（仝上）　英國衆議院に於て議員ペレーヤス氏は日英同盟條約中に英國か日本の爲めに米國と戰端を開くか如き危險を豫防すべく條款を有するやとの質問に對し外相グレー卿は日英同盟の性質たる全く平和的なれは之か爲に他國と戰端を開くか如きことあらさるべしと答辯せり

●旗艦撰定（仝上）　英國新戰鬪艦ドレッドノートは這回新設されたる「ホーム、フリート」の旗艦に撰定されたり

東京電報

●海軍將校行賞（一日發）　海軍將校大佐以下二千八百二十六名の行賞本日發表さる、中功三級金鵄勳章四十二名功四級四百名なり

●文部省の新事業（仝上）　四十年度文部省新事業は福岡工科大學島根高等農林學校、新潟醫學專門學校奈良女子高等師範學校等なり

●首相桂伯を訪ふ（仝上）　西園寺首相は本日桂伯を訪問せり

●露公使と稅關問題（仝上）　北京駐剳露國公使ポコチロフ氏は清露境界百清里以内の地域は自由貿易主義に據る旨宣言し、且つ清韓國境に稅關設置を條件として北滿洲に稅關設置に同意の旨回答ありたり

●兒玉大將法會（仝上）　昨日故兒玉參謀總長百ケ日法會を執行せり

●土地家屋證明規則（仝上）　韓國統監府は土地家屋證明に關する規則を發せり

●東宮行啓（二日發）　東宮殿下本日橫濱根岸競馬會へ御臨塲あらせられたり

●艦隊演習（仝上）　來月十日より第一艦隊對馬海峽に於て演習を行ふに決せり

●改正操典實施（仝上）　改正步兵操典新入營兵より實施に決し各步兵聯隊副官東京に召集さる

●兵站部行賞（仝上）　第十三第十四師團兵站部准士官一万千三百四十九名の行賞發表さる

●排斥學童復校（仝上）　米國大統領の日本學童分離（？）命令の撤回熱望に關し教育局は動されて學童は一日より復校せり

●日鐵引渡（仝上）　日本鐵道は昨一日政府へ引渡濟となれり右に付き進步黨中改擊の聲起れり

●都督府豫算（仝上）　關東都督府豫算本日提出濟となれり

遼陽電報

●天長節賀（二日發）　明日の天長節奉祝の爲め文武官合同停車塲前凱旋軍隊休憩所內に祝賀會を開き居留民重立並に清國官紳を招待する筈

●觀兵式擧行（仝上）　遼陽師團は明日午前十時より南練兵塲に於て觀兵式を擧行の筈にて一般內外人の參觀を許されたり

●祝賀會餘興（仝上）　遼陽居留民は天長節奉祝の餘興として二百名の婦人隊を數臺の屋臺に分乘せしめ城內城外を練り步く計畫なり

●降雪と結氷（仝上）　當地は昨日初雪ありて朝は結氷を見たり

●本願寺の說教　永世街本願寺出張所にては明日曜四日午后一時及六時三十分の兩回例に依り日曜說教を開き寺本布教師の出演ある筈

●佛教婦人會の例會延會　營口佛教婦人會例會は本日開會の筈なりしも都合により來る九日午後一時開會のことゝなれり

雜報

●內地雜信

▲政府の財政方針　明年度歲入出豫算は屢々報道せし如く例の剩餘金および俘虜收容費を以て大體の切盛りを見る次第なるか何分明年度以降は各省共戰後經營に着手するにつき明年度豫算成立問題と同分量若くは尙ヨリ以上の大問題となるべきものは明年度を受けたる明治四十一年度以降の財政大方針なりとす右に付今信すへき方面より漏聞く所によれは政府は西園寺首相か前期議會に於て公約せし如く來るへき第二十三議會に明年度豫算を提出すると同時に少くとも四十一年度及び四十二年度に亘る二ケ年間の方針を公示し內は國民をして其向ふ所を知らしめ外は列國に我國財政の基礎を明かにする意氣込みなりといへり

▲陸軍部內の非難　步兵第四十九聯隊の軍旗燒失事件は寺內陸相の取計らひにより岡崎師團長は呵責、丸井旅團長以下は謹愼にて一件結了したる旨陸軍省より發表されたる同部內にては一般に其處分の餘りに寬大に失したるを非難し中には岡崎師團長は長州出身なる事を云々する者あり元來軍旗は軍隊の生命にして畏くも　大元帥陛下の御名代として陣頭に立つ者なれは如何なる鐵火の中にあるも其守護を忽かせにすへきものにあらす過般の戰役中に軍旗の爲めに聯隊、大隊又は中隊の全滅を賭して惡戰したる例もあり平時に於て之を火災の爲に烏有に歸せしむる如きは甚しき怠慢且つ其師團の軍紀頹廢を表白せし者にして師團長及聯隊長は尤も重大の責に任すへきは兵士と雖ども熟知する所なり之に對して寺內陸相か呵責、譴愼杯最も輕き處分に出たるは岡崎師團長以下に對し一時の面目を重んじ右の處分は處分として別に自ら處決すへき餘地を與へし者ならんと云ふ

▲軍事費檢査　三十七八年度軍事費の會計檢査に就ては檢査院に於ても最初より格段の注意を拂ひ臨時職員を增加し各自從軍の心得を以て事務に奮務しつゝあり其結果功程大に進み今や陸軍に屬する分のみにても檢査を終へて責任解除の證明を與へたる金額十億圓餘に達し其關係書類は七百万枚の多きに及へり、檢査の結果は今日迄の處日淸役に比し頗ふる好良にして違法の支出極めて少く而も過誤又は萬不得止に屬するもの多しと云ふ

本日の祝賀會會場

▲大藏省の不當支出　檢査院の檢査を結了したる三十七年度決算中大藏省所管に於ては不當支出に屬する者多く專賣局分のみにても數件の多きに及ぶ由

▲陸軍從卒問題　第十九旅團長馬塲少將か率先して部下將校に對し從卒廢止を斷行したるより當局者に於て問題となり居りしか有力なる反對說出てし爲め廢止說は到底行はれさるへしといふ

▲農務局の桑園調査　夏秋蠶の賃金の低廉なる事及ひ期間の短き事其の他種々の點に於て春蠶に比して利益多き事は既に一般の認むる所なり從ひて既往數年以來に於る之か發達は著しきものあり只之に伴ふて生したる弊害は濫摘の結果桑園の荒蕪に屬したるの一事なり農務局に於ては此の點に關し特に注意する處あり今回各府縣農事試驗塲に依托して右の調査を爲さしむるに決し目下照會中なりといふ

▲陸相滿韓視察　寺內陸相は陸軍の論功行賞結了を待ちて滿韓視察の途に上る筈なるか多分天長節後議會開會までに巡視を了るへく其の旅程は旅順、大連、遼陽、奉天等を經て歸途平壤より京城に入り京釜線を經て歸京すへしと

▲郡制案反對　政府は今回の議會へ郡制廢止案を提出する由なるか貴族院にては反對の意見を有する者多く此程長文の反對意見書を發表したり

●滿洲に於ける露國領事館　滿洲に於ける露國領事館の位地に就ては先般來駐淸露公使ポコチロフ氏と淸國外務部との間に交涉中の由なるか彼は總領事館を奉天に置き領事館を吉林、チヽハル、大連、哈爾賓に置き副領事館を寬城子に置く豫定なりと

●寬城子と三井支店　三井物產會社は北滿洲に鐵道連絡の關係上より寬城子に支店を設置せんとて先般來該地方視察中なりしか今回愈よ其設置に決し本店員河合松之助氏を支店長に任命したれは同氏は不日該地へ向け出發の筈なり

●鐵道停車場確定委員の出發期　萩原總領事は先日ハルピン地方に出張し四五日前皈奉せしが今回中村少將等と共に寬城子の鐵道停車場位置確定の爲め來る六日頃更らに該地に向け出發の筈なりと

●遙拜式と秋季運動會　當市瀛華實學院は本日同校內に於て遙拜式を擧行する筈なりしも之れを中止して生徒一同を軍政署樓上に參賀せしむる事とし更らに來る十一日の忠魂碑除幕式を機とし新市街公園地に於て盛大なる秋季運動會を催す豫定なりと云ふ

●牛家屯守備隊の祝賀式　牛家屯守備隊にては本日午前八時より全守備隊兵舍東北の空地に於て遙拜式を行ひ午前十一時半より祝賀會を擧ぐる由にて昨日それ〳〵招待狀を發したり

●忠魂碑の完成期　有志者の斡旋に依り當市新市街の公園地に建設中の忠魂碑は昨今工事大に涉取りたるを以て來る十一日頃には除幕式を執行するの運ひに至るへしとそ

●本年の終航期　當營口は每年十一月廿三四日頃には大槪滊船の往來を杜絕する次第なるか當業者間の言を聞くに本年も最早兩三日前より突然寒氣を催したるを以て此儘に推し行かは本年の航海停止も多分其頃と推定して差支なかるへし從て內地より當港に來れる船舶の最終歸航は定期船にして來る十三四日頃社外船にありては仝しく十六七日頃と知るへしと

●滊船彙報　▲ウエンチヤオ號一昨日午後三時半龍口より入港乘客三百六名▲牛莊號一昨日午後三時半龍口行乘客七十名▲芝罘號同四時龍口行乘客五百名▲竹島丸同三時芝罘行▲中國丸同五時十五分神戶行積荷豆▲萬珠丸同四時神戶行▲昨正午現在十八隻

公人私人

▲吉原四郎氏　一昨日來營旭ホテルにあり

▲杉野書記生　明日ハルピンに出發の筈

▲本多中尉　一昨日奉天より來營東京樓に投せり

▲古閑主計　昨日遼陽へ赴任

●獨逸兩汽船の對抗　獨乙ハンブルク汽船會社が此の程の總會に於て二百万マークの增資及び東洋方面の航海發展策を議決したるに際し北獨乙ロイド汽船會社にては頃日臨時總會を開き之が對抗策を審議したる結果同じく若干の增資を行ひ東洋方面に於てはハンブルクに對抗するに決したりと

●露國の新滊船組織　露國ロイド滊船會社はペテルスブルグに於て資本金六百万ルーブルの一大汽船會社を組織しバルチツク海及び黑海沿岸各地より歐洲各港に輸出せらるゝ貨物石油及び副產物の專門輸送を爲すと共にアラビヤ印度波斯其の他東洋方面に向ふ觀光客の運輸業務を開始せんと目下其の計畫中なりと云ふ

忙中閑筆

本日新市街の公園地で開催する天長節祝賀會は、委員諸氏の周旋で、非常なる盛會を見ると同時に、模擬店なども澤山に出來て園遊會の催もあるらしいか、余はソレに就て出席の紳士諸君に一事御注意を促して置きたい▲余も東京に居た頃から、處々の園遊會或は立食の筵に招待されて出席したことかあつたか、我同胞に公德心の少いためか、何時も顰蹙せねはならぬやうなものを見受くることか多い、酒を食つて醉狂し、傍人に迷惑を懸けるはまだしも、泥棒根性を出して、皿、鉢、ナイフ、フオークなど、手當り次第に持ち歸るなどは、殊に淺間敷い▲いつであつたか、新宿御苑で赤十字社大會に天皇陛下か出御ましまし、總裁閑院宮殿下から立食の筵を賜はりし時、卓の上の花飾を始め、テーブル掛まで盜み取つて、大得意で門まで來た所を皇宮警察の警部に見咎められ、頭から火の出るやうに叱られた紳士かあつた▲また日比谷公園で英國艦隊歡迎會の時も、或る知名の紳商はビール罎二本を袴の下に隱くし宅に歸つてから寐酒に一杯飮うとでもおもつたものか、醉步蹣跚として歡迎門の下まで出て來ると、如何した機みにや、ソレを大道の眞ン中に取り落したので、泡沫滿地、さなから馬か小便したやうな奇觀を現出した、見物人は指笑する、紳商は赤面する、耻曝しも此に至りて極まれりだ▲洋食皿を脊中に匿し、馴染の藝妓にポンと一ツ敲かれて惡事か露見する、フオークをポクットに匿し、其儘醉ひ倒れて、橫腹に負傷するなどは、今の紳士氣質としては有勝のことて、滑稽は滑稽だか、誠とに御座の醒めた話だ▲我營口は東京と違ひ、個樣に根性の腐つた紳士紳商は一人も居ないとはおもふか、酒を飮んだら、餘程注意しておらねと、一生の面目玉を踏潰さゞるやうな失體を演出するから、余は老婆心を以て一言注意を促しておく▲しかし今日は大節だ、佳辰だ、大に祝すへく、又大に飮むへしだ、フロツコートの先生か一杯機嫌で市內を踊り廻つたからとて、明後日の新聞には決して書かない。

廣告

清料理　萬樓　鐵嶺西門街大神廟道

醫術開業　內外科婦人科　其他一般の診療に從事

津輕檜角材及丸太（長八尺以上）
仙臺赤松角材

陸軍指定　鐵嶺ホテル　鐵嶺大西門外通り
御旅館　館主　中野忠治
弊樓今般新市街へ移轉仕候に付て其準備中當分の間向側旅館部にて引移申候間不相變御引

晴　自一日午後六時至二日午後六時

●戰地の天長節

來原小楷

顧みれば早二年の昔、沙河の大激戰にクロヘトキンが必死の逆襲を喰止め、美事世界の戰史に東海日出國の武威を輝かし、彼我共に全線約五十里に亘れる塹濠に對峙しつゝ、我は得得彼は悶々の反比例の中に冬の陣に入つた。中に名譽の黑木軍團は〻軍の右翼で沙河を距る三里の后太牛拉山子と稱する一部落にいとも芽出度天長節を迎へたのである。軍司令部には金枝玉葉の御身を以て倥偬の間に立せられたる久邇宮殿下あり、黑木大將藤井參謀長三個師團長各旅團長及び英のハミルトン中將以下各列强の從軍武官も其中に加はりて、晝はとりとりに此光榮ある戰場の佳節を祝するの式嚴かに夜は盛大なる夜會が高粱式ハラックの裡に開かれた。

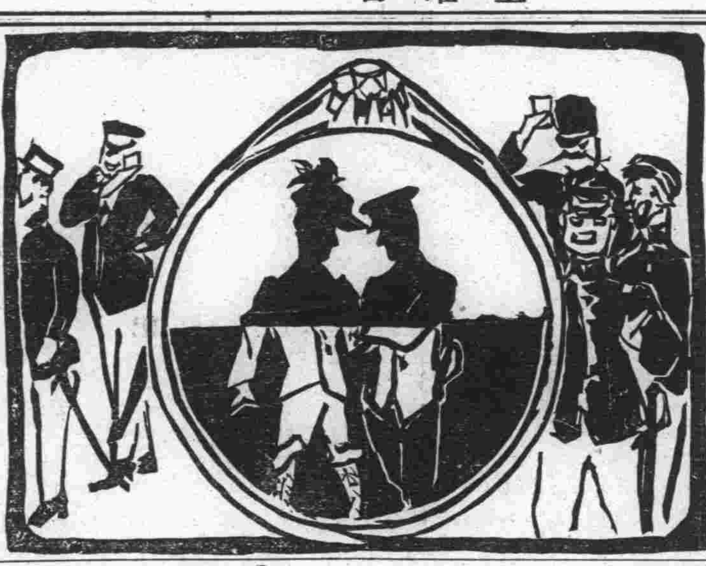
天高く氣澄み胡歌月に冴へたる滿洲の秋の夜、昨日までは修羅の巷に明日の修羅をも忘れたるか如く不夜城歡樂の春を一堂の中に現じて、或は舞踏のスケーチング、或は假裝會など歡聲湧くが如き中にも彌高き陛下の御思召ても特に我軍に差添えられたる軍樂隊は瀕迦の樂を奏して興を踏れた

兹に一塲の珍譚がある出征年餘に渉つて戎衣既に古りたる身には起きては銃把を擁し寐ては背嚢の枕に馴れたりとも、誰知萬里遠征情未親孤眼還家夢、響き渡る喇叭に破られては阿娘が閨のうつゝ惜まるゝ間もあらぬ乍らに斯る時這はいみじくも思ひつきたるもの哉、件の軍樂隊の一連は華冠錦裳の洋婦人に假裝つて一宵の嘔采を博した。

あるひは鬚面をホンテツトに騈べ、あるいは劍鞘を浦鹽更紗の衣の裳裾に摺らせて、幕僚の若手の面面、各相擁し相拉して踊り廻れば、やゝわか劣るまじ昔覺えの腕と軍管理部の副官某大尉、誰眼にも妖姚として色美しき假裝婦人のミスリリーと假の名を付せる假裝婦人と抱いて鴛情鶯語喃々として盡きず、宛から青春の血に盈た青年が双蝶のかたらひ見る目も眴がましい樣に人も羨むので、いつしか誠は有髯の男子たることも打忘れて、盡せぬ情に千代かけて我戀妻よと腕を廻らせば此方も現心に忘られぬ昔の君と花羞かしき嬌笑をかへせは薔薇かはる頸を捲いて大尉は故鄕に殘せる妻が二世かけて欲めおいた結婚の指輪を拔きとつて百合孃の指に欲めた。

妾が一夜の情に悟めてのうらはづかしさは知らず、元是軍樂隊の中にも殊に逞ましい樣子をした頰髯青い男の只假初に裝ふたのを眞の姿は打忘れて片時放さぬ妻が思出とも思つてゐる指輪を不覺にも手放した大尉が失態は云はずもあれ。

扨も扨も勇々しき珍事、明くる朝になつて大尉は指を抱へて口惜しがつたけれども十日の菊、地段太踏でも旅に及ばない彼の樂手が似ても似つかぬ靑髯面を見る每に一時の座興とはいへ一旦やつたものをかへしもやらず、さりとて此恨み泣くにも泣かれぬ失策を今に軍中の胡盧に止めたとはいたはしくも亦笑止のかぎりなれ。



青瓢簞

てんみん

十一、別嬪と不別嬪（上）

◎每度女が引合いに出されるので御婦人方に對し何となく御氣の毒の次第に存ずる、さり乍ら僕は大の婦人党ゆゑ決して御心配なく寧ろ親船に乘つた、積りて居られたい一体婦人は容貌の美醜に依て少からぬ損得がある樣だが、これ强ち三世相に所謂前世の報ひといふ理由でも無かるべく、又別に各の兩親の責任問題となるべき筋のものでもあるまい、況して自巳の能力如何には勿論關係しないので無理に云ふならば造物主の依估の沙汰とでも諦らめるより外はなかろう、然らば則ち容貌か美らうとて覩親は元より巳れ自身も決して手柄らしく自慢高慢の鼻を動めかすべきではなく、又醜いからとて自身の責任でもなくまた兩親の不手際なぞと間違つた悔恨を懷くべきものではない、唯各各美はその美を維持して損を招かぬ樣に努め、醜は出來得る限り他方面に美點を求めて生來の損を補ふ樣に心掛くるのか肝要であろう。

◎馬子にも衣裳といひ、色の白いのは七難隱すとも云ふ位であるから、況して三十二相揃ふた天然の美貌を授かつた者は馬鹿ても確かに美まれるであろう、斯る人こそ貴本要らすの儲けを得たので御當人の喜悅と利益とはなかなか大連の彩票に當籤した位のことてはない、理屈をいふなら斯ういふ人人はソレに漏れた不運の人達を招待して壯んに御馳走を振舞ふても可さそうなものたが、兎角人間といふ者は慾に目のないのか定法と見えて初めは百圓ても結搆たからと手を合はして居たのか、運よくも願よりも十倍の五百圓に當籤して見ると了簡かガラりと變つて、とうせ當るのならは五千圓のにすれは宜かつたものをとサモサモ最初から當り籤か鮮つてゞもあつたかの樣に地駄太踏んで口惜かる樣に、別嬪を持てる覩はこんな美人を産むにはドレ程心を痛めたてあろうとドーやら娘の美貌は自己か特別の技能にても基因したかの樣に力んで、あろう事か果てはこんな美い容貌の者をムザムザ人の妻にして腐らすのは惜しいものた、寧ろ藝人にてもして世の中の奴等に自慢をしてやろうなぞと途方もない無謀を起し又當人は當人てフン人を馬鹿にしてるよ、教育かあるの無いのツてさ、敎育なんテ何だろう敎はれば幾程でも出來るぢやないか憚り樣たけれ共妾の容貌は人の手を借りて出來た樣な安つぽいんてはないことよ、ナニあの人ばかり男じやあるまいし容貌かてれ程なら人樣のお世話にならなくたつて、滿洲へ出かけて娼賣した所か立派に氣まゝか來るわ、敎育と容貌を一所くたにされてドーして堪へされ樣なぞと自惚鏡に映る自分の貌に見惚れ、宛も生なからにして博士の學位ても握つて來たもの丶如く、張子の虎てはあるまいし首を振つて世を過そへとするに至ては、自慢に逆上て折角の瑾を代なしにするといふものてある、これぞ所謂瑾を抱いて罪あるといふものた、愼みても尙ほ愼ますんはあるへかゝすかチ。

●天と地獄

米國の或敎會に於て說敎終たる後例の如く牧師は立ちて天國に行かんとするものは起立すへきを命せり、凡ての人は起立せるも唯一人の青年は靜坐せる儘動かさりしより滿堂の視線は此一身に集れり、次に牧師は地獄に行かんとするものは起立すへしと命しけるに何人も起立するなく此青年も坐して動かざること石の如し、乃ち牧師は步を移して其青年の傍に至り何故に何れの場合にも起立せざるやと問ひしに我れは此世に生活するを得は足れり、天にも地獄にも行くことを欲せずと答へたり、

廣告

●寸法用書 改正第八版 定價表郵券貳錢御送付あらば進呈

登錄商標（内田）

米國製ゴム長靴　ゴム底運動靴小兒用シカメキ　防水靴（色ハ黑及白）

近來此の黑クリームの摸造品を販賣するもの在り 登錄商標櫻印に御注意を乞ふ

獨逸國製黑革用黑クリーム一瓶金廿錢

東京市芝區櫻田伏見町　内田直二商店

一ピーオーピー寫眞
一絹寫眞（ハンカチーフ・ハンエリノ類）
一プラチナ寫眞
一夜間撮影
一ブロマイド寫眞
一出張撮影
特ニ出張寫シハ枚數ニ應ジ精々割引可仕候間御用命願上候
電話（一四一）本店營口元神廟街二百卅五號
全（二十五番）支店奉天小西門外大十字街路北 茂林館

繪はがき
一營口景色　十二種　壹組
一營口十美人　十二種　壹組
一奉天博覽會紀念　十二種　壹組
一滿洲風俗　十二種　壹組
一滿州風景　十二種　壹組
一遼西遼東ノ勝景　十二種　壹組
一奉天美人　數種
右七十余種ノ繪はがき
ハ滿州寫眞倶樂部員ノ撮影ニ係ルモノニシテ全倶樂部ヘ出品中ノ秀逸ナル者ノミヲ撰ミ印刷ニ附シ候者ニ付世ト有リ觸レタル繪はがきトハ自ラ相違アリ定價モ壹組金五十錢宛ニシテ印刷數ニ限アレバ代金ヲ添ヘ至急申込被下度候但シ近日中到着ノ豫定
三船眞寫舘

祝天長節
商標 K 材木 石炭
喜久洋行

祝天長佳辰
御料理
營口新市街
入船亭
谷初二郎

奉祝天長之佳節
營口 本店 關東公司
奉天 支店 關東洋行

祝天長節

最上醬油

白米　味噌　海苔　詰庵
本炭　淺草　酢鎌　東京澤　蜂葡萄
營口永世街
大原洋行
（電話百二十二番）

陸軍指定旅舘
福屋
鉄嶺西門外

謹祝天長之佳辰
各國金銀時計及附屬品一式
金銀緣眼鏡及双眼鏡各種
寶石入彫刻指輪各種
新到各樣鐘表眼鏡轉盤機器一概俱全
營口西北街
近江洋行

列車發着

[illegible]里堡發	一・一六	一〇・一六
普蘭店發	二・一三	一一・一三
瓦房店發	四・〇一	一・〇一
得利寺發	五・〇三	二・〇三
萬家嶺發	六・二九	三・二九
熊岳城發	八・〇五	五・〇五
奉天發	[illegible]	[illegible]
虎石臺發	六・五七	三・五七
新臺子發	七・五七	四・五七
鉄嶺發	九・二五	六・二五
開原發	一〇・五二	七・三二
虎石臺發	一・四九	一〇・四九
奉天發	二・四八	一一・四八
蘇家屯發	三・五一	一二・五一
煙臺發	五・二三	二・二三
遼陽發	六・二九	三・二九
鞍山站發	七・四八	四・四八
海城發	九・三〇	六・三〇
普蘭店發	七・五九	四・五四
三十里堡發	九・三〇	六・三〇
金州發	一〇・五八	七・五八
大房身發	一一・一六	八・一六
南關嶺發	一二・〇七	九・〇七
大連着	一二・五〇	九・五〇

上り
長嶺子發	一・三三	一〇・三三
旅順着	二・一八	一一・一八

下り
旅順發	前七・二〇	後四・二〇
長嶺子發	八・一八	五・一八
營城子發	八・四一	五・四一

旅順線
上り
營口發 前六・三五 後九・三五
大石橋着 七・三〇 一〇・三〇
下り
蘇家屯發 後三・五〇
蘇家屯着 一二・一七

注意
一、乘車驛南關嶺南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同樣各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者
一、乘券購入の際は混雜を防ぐ爲め金は過不足はき樣注意すへし
一、料金は軍用手票を標準とし計算徵收す
[illegible]但し算出上十錢未滿の端數は十錢に切上け徵收す

鞍山店仝發	三・二九
遼陽發	四・五六
煙臺仝	六・一八
蘇家屯仝	七・五〇
奉天着	八・一五
	九・四〇
海城仝	三・三〇
大石橋着	四・五〇
仝發	五・一五
營口着	六・一〇

運轉區間の手小車ふ取扱
有蓋車六十を以て一〇に代用す

宮様の御家庭

吾人は本日の佳辰に方り先づ筆硯を洗ひて恭しく竹の園生の彌繁りに繁り彌榮へにさかへたまふ皇孫三殿下の御事を記しまつり謹て我皇室の御多福を祝し奉りしが茲に又閑院中將の宮殿下の御家庭を寫し萬衆の仰いて範とすべき御美徳を傳へまつらん

「平民的と申上れは畏多けれとも、總て下さまの狀態に御心を注かれ金枝玉葉の尊き御位にありて專ら家庭敎育に重きを置かせ給ふは閑院宮載仁親王、妃智惠子殿下の御兩柱なり、妃殿下には毎朝五時半に御床を離れ各女王殿下は同六時に御起床あり朝餐終りて小石川の跡見女學校に御通學遊さるゝ定刻に到れは最も質素なるお辨當を持ち恭子女王殿下(十二)を首め奉り十歳にならせ玉ふ茂子女王九歳と承はる季子女王の各殿下御揃にて馬車に召せられ御通學あり御病氣の他は決して御缺席なく取分恭子女王殿下の繪畫の道を好ませらるゝ事は花蹊女史も恐入る程にて其一例を記せは女史か左向の小鳥を描きて差上れは殿下には自ら御意匠を凝して右向の小鳥を書き之を女史の元へ持行れ「先生是て可てしやうか」等仰あり其筆勢の正しく運筆の巧き到底同學年生徒等の及はぬ程にて御歸邸後も他の學科よりは書道と繪畫を眞先に御稽古遊すと承り及びぬ三女王殿下か御通學の御後には五つの歲を數へ玉ふ春仁王殿下と去る二月二十一日御生誕遊はされし寛子女王殿下のお在しますものから侍女のヤヱ子、ミチ子、初野子の三人替る〳〵御二方の御傳を勤め御機嫌の程を伺ふ定めなるか此程侍女の郷里德嶋縣麻植郡西麻植村小學校尋常二年生麻植恭太郎(七歲)と言る少年より己か寫眞を添え「をばさん、私の學校の試驗ができまして二年生になりました又三年生になる筈ですお目出度う」と總て片假名にて記せる無邪氣の手紙來りしを春仁王殿下には偶然お通りがけに御目を止められ其寫眞と手紙を見せよと仰せあり熟々と御覽の末「本統にこの子が書たのかねえ」とさも感服遊されしか如く學校より御姉君達の御歸邸を待ちひた走りに駈付て恭太郎少年の手紙と寫眞をお示しあればどれ私にも〳〵と各手に取て御覽の上御三方共ノートブツクへ少年の手紙全文を寛し嗜誦し給ひしとは學事に御熱心なる床しさ偲ばれて行末然てこそと思はるゝが念なくも斯る光榮に浴せる恭太郎少年も亦世に稀れなる幸福兒と言ふべし又た、春仁王殿下は御男子の事なれは御活潑なる言ん方なく太だ動物を好み給へは玩具は重に動物を模せし品多し特に洋犬を愛し給ふ事大方ならず如何に御機嫌惡き時にても犬さへ駈來れは直ちに御笑顔を遊す由先頃の事なり御湯殿の近くに大なる鼠現れ出てしかは侍女は殿下に御覽に入はやと「彼所に鼠か居ります御覽遊はせ」と申上れは一目御覽になりて「鼠は大嫌た、叱々」と足拍子を鳴して追拂ひ結ひしか時過て妃殿下に御對面の時「おたあ樣、私は鼠は大嫌です」と卒然小さき唇を開き給ふに樣子を御存知なき妃殿下は最御不審の色を浮べ「何故です」と仰せあれば「でも鼠はペストでしやう」と答へ給ひしには御座近く居りし侍女は只管驚入たりと言ふ又或時老女某が我居間にて居眠りを爲したる後にて「お前は賢いよ先刻居眠りをして居たてはないか」と戯れ給ひ奧御殿中笑聲どよめきし事あり元より皇族殿下の御家庭とて王子王女各殿下の御食物も非常に御注意申上げみたりに間食を爲し給ふ事を御止め申す事に爲し居る中一日到來せる越後の名產吹雪煎餠を侍女が燒き居る所へ入らせられ「今一つ燒て御覽」と勸め給ひ「自分は食べないよ美味いだらうな、其はお池の金魚に與たらよからう」と一口も召上らざりしと御家庭の嚴肅なる以て我邦上流社會の龜鑑と爲すへく馨香たる美風漏承るだに畏し我等筆を擱くに臨み更めて宮殿下御家族の御多幸を祝せさる可からす

祝

加藤洋行

漢詩と俳句の比較　▲△生

詩、歌、俳句、體に硬柔の別あり、篇に長短の差あり、語を出すも亦相同じからずと雖も、而かも物に觸れ事に感じて、咄嗟し詠歎し、其趣を獲るを以て主となすに至りては則ち一のみ、余今こゝに漢詩と俳句とに就て、前人の設想及び造語の相類似せるものを採錄し、相比對して所謂詩趣の存する所を略說せん

宋の晁端友が宿齊州西門外旅舍の詩

寒林殘日欲棲鴉、壁裏靑燈乍有無、
小雨惜惜人不寐、臥聽贏馬齡殘蒭、

客身倦夜の光景寫し得て親切なり、古人の或は此詩を評して、靜中の妙境を詠せるものと爲すは恐く作者の意にあらざるべし次に芭蕉の俳句

蚤しらみ馬のしとする枕もと

此れ亦客中倦夜の意にして晁端友が詩の結句、臥聽贏馬齡殘蒭とあるに殆んと其構想造語を同ふせるなり、昔し汽車もなく人力車もなく、交通往來の至つて不便なる時代にあつて、客身長途に疲れ荒村古驛の木賃宿に投宿して一夜を眠らざりし光景、宛然目にあり、あはれに覺ゆ

明の袁中郎、名は宏道と云ふ、作る所の文詩、或は輕詭浮佻の嫌なきに非すと雖も、而かも亦才氣煥發すれば固より詞壇の一俊傑なり、傳へ云ふ中郎嘗て紳士某氏の招きに應じ、觀花の筵に赴くや、滿座の賓客は皆な當時の大官鉅公なり、杯酒の間猶は勢を狹んで矜驕する所多し、中郎ひとり一介の書生を以て、破帽敝衫落花の上に傲倨し談笑自若たり、灰嘲百出し、傍人無きが若し、酒酣なるに及び、主人墨を磨し紙を展べ書を座客に乞ひ、乞ふて中郎に至る、中郎また思構を假らず、咄嗟一句を書す、其句

此處不許小解

小解は小便なり、尿なり、座客相顧みて語なく、或は放逸を憤り、或は其不吉を慍り頓に興味の索然たるを覺ゆ、中郎因て啞然として笑ひ、また一句を聯ね其句

滿地總是有花

畫龍睛を點じ俗も亦化して雅となる、座上の賓客こゝに至りて始めて中郎が才氣の擬横なるに服せしなり、咄、咄何物の狡兒ぞ敢て此佳話を偸取し句を造りて曰ふ

此處小便むやう花の山

ど、此句は必ずしも俳家者流の推して絕讚と爲す所にあらさるべし、然れとも其人口に膾炙せるや久し、古人俳人の學問に淺き一個の狡兒に瞞弄せられて而して止む、亦憫笑に附すべきのみ

唐の耿湋が秋日の詩

返照入閭巷、憂來誰共語、古道少人行、
秋風動禾黍、

蕭餚古勁にして、古道幽寥の秋景、宛然目にあり、晉其角は之を譯したるものには非さるか、甚だ酷似せる句あり、其句

此道や行く人もなき秋のくれ

古勁甚し、而して其造語著想、兩ら耿湋が詩と同手に出つるが如く、境を遮るも亦おなし(未完)

菊十五章

こゝちよき日の當る也菊の花　獸堂
三徑やした葉からひて菊の咲　仙橋
香にめてゝなでても見る菊の花　嘉泉
四位殿か御宴にまかる菊見哉　亞然坊
一株百輪菊らしき名てなかり鳧　三樂
かくれ家の菊作る家と聞ぬ鳧　天馬
意氣人にせまる風情や菊の花　同
作らさる菊を愛するひとり哉　千曲
きく咲くや天長節は鼻のさき　明星
菊の宴十七文字を並へけり　夢周
きく十句きくを貰ひし禮狀に　しき女
團子坂きくの名所の俗也けり　抱琴子
夜の菊燈ともして影を認めさす　茶亭
あちら向に菊見ておはす僧都哉　鼎庵
さめ易きむらさきはなし菊花　野梅

奉祝天長聖節
飯塚工程局

祝天長佳節
日本官製煙草各種專賣
特約販賣店
加藤洋行
大德元
裕和盛
北原商店
豊生洋行
元神廟街
日本官煙專賣處

祝天長之佳節
材木大販賣
西洋家具製造販賣
營口二本町
塩川商會
(電話一三六)
仝新市街
塩川商會出張所
(電話八九)
石本組
營口新市街鹽川商會院內

銃砲火藥
カーテーシヨンクリーム
官許火藥獵拳銃 卸小賣
日用欠ク可カラザル一分間湯沸器
建築用金物類一切
毛皮防寒被服類
營口永世街
寶圓洋行
電話三二一番

最新流行形
高等洋服裁縫處
永世街四十一號
古賀洋服店

謹みて天長の佳節を祝し奉る
營口元神廟街市場前
東京樓旅館
(電話一七八)
仝元神廟街東海樓横
東京樓支店
料理部
(電話四四)
店主 熊田粂次郎

材木商
營口永世街平野町
秋田洋行
(電話一三八番)
本店 下關東南部町
秋田商會

吳服太物洋反物及日用雜貨類
SS
淸國營口
玉井商店
(電話七十番)七十番差支の時は(五十番)
一冬物色々着しました
一金高と品物の多少に拘はらす直に御屆け可申候
一御進物用の切手は御持主の御都合に依り何品にても引換可致候
一吳服太物洋反物類　一改正軍服及附屬品　一防寒用品
一金巾がん〳〵枠絣類　一罐詰及乾物類　一男女はき物
一御婦人用小間物類　一玉突臺及附屬品　一ランプ
一金物及大工道具　一點燈用アセチリンガス　一炊事道具
一文房具及諸紙類　一洋服附屬品
一塗物及陶器類　一疊建具和洋家具
其他日用雜貨いろ〳〵

奉祝天長佳節
新市街第七號
宮崎工程局
宮崎宗朝

奉祝天長佳節
新市街
加州組
鐵工部
(電話八六)

宮門抄

十二日　兵部　太僕寺　廂白旗值日　學部引見三十一名　提督衙門三十四名　廂紅滿二名　廂藍滿四名

掌儀司奏十五日祭

奉先殿[illegible]貝子行禮

召見軍機

提督衙門奏據北營參將王漢池督率都司龍嘉驤等代同弁兵在西直門外大豁子地方拿獲白晝持械嚇禁事主搶刼行人之盜犯成池一名又據左翼翼尉烏珍副翼尉鶴春委翼尉普泰督飭小隊章京連瑞長順英珍奎元等於九月初五日在正陽門外東火車站拿獲圖財謀斃人命棄囚逃犯劉才一名均請交刑部

十三日　刑部　都察院　大理寺　廂紅旗值日　部引見八十名　禮王等盤查銀庫覆命　桂伯續假十五日

召見軍機　張熙

上諭恭錄

十二日奉

上諭前任西寧辦事大臣署烏魯木齊都統豫師由進士中書荐升御史外任道府同治年間擢任西寧辦事大臣並派署烏魯木齊都統統帶福建等營剿辦回匪著有勞績前因患病准其開缺回旗調理茲聞溘逝殄惜殊深加恩着照都統例賜邺任內一切處分悉予開復應得邺典該衙門查例具奏欽此

旨本日學部帶領引見之考驗游學畢業生陳錦濤着賞給法政科進士顏惠慶賞給譯科進士謝天保賞給醫科醫士顏德慶賞給工科進士施肇基賞給法政科進士李方賞給法政科進士徐景文賞給醫科醫士張煜全賞給法政科進士田書年賞給法政科舉人施肇祥賞給工科舉人陳仲池賞給醫科醫士王季點賞給工科舉人廖世綸賞給工科舉人曹志沂賞給醫科醫士黎淵賞給法政科舉人李應泌賞給醫科醫士王鴻年賞給法政科舉人胡振年賞給法政科舉人王榮樹賞給農科舉人路孝植賞給農科舉人薛錫成賞給法政科舉人周宏業賞給法政科舉人陳威賞給法政科舉人權亮賞給商科舉人董鴻禕賞給法政科舉人稽鏡賞給法政科舉人富士英賞給法政科舉人陳耀西賞給農科舉人羅會坦賞給農科舉人傅汝勤賞給醫科醫士徐爵賞給商科舉人欽此

論說

論戒烟僞藥爲戒烟之阻力

中國自維新以來。有志之士。詳究夫中國衰弱之故。與夫各國强盛之端。其原因雖極複雜。而大端則在於吸食鴉片。與不食鴉片。夫其他諸害僅在一身。而鴉片之害。則及於子孫。遺傳之毒質。綿延滋蔓。伏於隱微者。流諸數世而猶未能已。當其始也。吸食者不過數千百人。即此數千百人之流毒。一傳而遂倍之。再傳而又倍之。浸淫既久。舉凡國人之身體血液中。幾莫不含有鴉片毒之一部分。以故材力非不過人也。聰明非不勝人也。而精神志氣。不足以相輔而行。徒令材力因之而日隳。聰明因之而日蔽。乃奄然自成爲一頹靡不振之氣象。嗚呼。種之不强。而欲求其國之能强。雖以雄傑如拿破崙而爲之君。偉略如俾士馬而爲之相。亦斷不能驅此無精神無志氣之族類。而爭勝於地球之上也。試以中國人與西人相比例。西人則類皆碩大魁梧。具有精悍之色。中國人則類皆纖細怯懦。羣以文弱相高。彼此對待。優劣可知。是雖由於體立之不知。衛生之不講。然其與有生以俱來者。亦正自有故也。比者强種之義。大明於中國。咸知以戒烟爲第一要義。雖然。戒烟之事。豈易言哉。煙之爲害也。充達於臟腑。流行於血脈。四肢百體。罔不受之。故欲言戒煙。非先研究戒烟之法。則烟毒必不得除。而烟亦必不得戒。不得戒煙。猶可說也。不能除煙之害。轉於烟害之外。又添一害。是豈人之所樂於從事者耶。上海一埠。自戒烟之說盛行。牟利之徒。各出心裁。製成各種藥料。爭奇鬥異。無美不臻。至其中品料之若何。成效之若何。不敢妄加評論。然未嘗不竊訝戒煙之法。何其多且易也。前閱某報告白有服某種之戒烟藥。因而喀血者。然猶疑爲汚穢之詞也。又有以某種戒之烟藥。重用嗎啡者。然又疑爲忌嫉之語也。蓋以耳聞終虛。而目見始確也。昨有友人患失血症。詢醫於記者叩其致病之由。則友人素無此症。因有志戒烟。誤服某種之戒煙藥。今患甚劇云云。然則某報之告白爲不誣歟。重用嗎啡之說爲不謬歟。受害之人。其可知者如是。其不可知者可想矣。爲害之藥。其可知者如是。其不可知者可推矣。戒煙原以去害。非以加害。奈何害不可去。而加之害耶。朝廷明詔特頒。期以十年爲限。原冀與民從容更始。不忍操切以圖。使人民既受吸烟之害。更受戒烟之害。苟稍具人心者。宜知國事之維艱。體大君之仁政。加意研究以求功効。俾服之者有益而無損。奈何利令智昏。製售僞藥。第求一己之利益。不顧他人之生命。其設心已不可問。矧戒煙爲强種之要政。乃因此而益生阻力乎。則害及於個人者罪猶小。害偏於全體者罪乃大也。今夫人之有生。無論知愚賢不肖。無不知愛惜其性命。人情所在。大抵皆然。今既明於鴉片之爲害。而又迫於功令之嚴。故不得不戒。不敢不戒。初非以戒煙而忍犧牲其性命也。服戒藥而有效。固戒煙者之幸。服戒藥而無效。亦戒煙者之不幸。然即不幸猶不難舍而之他。由不幸以求其幸。容終有幸之一日。旁觀者見戒烟者之有效。亦以爲幸。無效者而終於有效。亦以其不幸爲幸。而於是人見戒烟之無害也。有不爭先而恐後者乎。則中國禁煙之政。已不必待諸十年。已將不禁而自絕矣。若使戒煙之藥。盡如某種之藥。煙之能戒與否。尚不可知。而已百弊叢生。並且性命而亦不之保。人見其如是也。不知戒煙藥之爲害。而以戒烟之害之足傷其性命也。詎肯舍其性命以戒烟乎。是雖董之以嚴刑。加之以峻法。亦相期與觀望而不前矣。則十年之期。亦徒成虛語耳。是故烟之能禁不能禁。全視乎戒藥之善不善。戒藥而善。則足爲戒烟之導綫。戒藥而不善。則足爲戒烟之阻力。一戒烟藥之微。輙關乎强種之大。正未可與售賣尋常僞約者。相提而論也。詎可任奸商市儈之貽害無窮乎。深望有地方之責者。亦於此加之意焉。

京東電報

（華歷九月十六日）

●俄使提議稅關之事　駐北京俄國公使璞科吉羅夫答北京政府曰清俄界百滿里內之地域宜自由貿易清韓國境設置稅關則北滿洲設置稅關之事當與之同

路透電報

●日英條約之關係　英國衆議院議員撒快挨斯君質問日英同盟條約中載有日與美開衅時關英危險之條約否有則豫防之外相苦列氏答曰日英同盟之性質全然平和當不必因其與他國開仗而遂有他慮也

中外要聞

●閱兵大臣奏對之確聞　十一日鐵袁兩閱兵大臣自豫回京赴頤和園覲見兩宮覆奏大操一切情形及觀操外國武員報館通信員對付大操評言兩宮傾聽少時聖顏頗豫外間均云此次大操北軍優於南軍一步袁督深喜不致空糜巨欵

●袁宮保回津之期　官場消息云直督袁宮保晋京以來已經月餘督署公務山積不親自裁奪現因有難辦事疑於本日或明日回津是否再行回京尚難預定云

●彭翼仲行兇之傳說　據外城巡警總廳云十二日夜十一點鐘在總廳南院稽查處前京話日報主筆彭翼仲與看守委員朱君談話因提起家事爲難遂出手槍欲自戕該委員好意勸阻不料彭突用手槍向朱委員施放幸該委員身体靈便躲閃迅速彈子雖擦過然已轟傷右目頗重流血淋漓隨急報總廳廳丞朱桂辛當即電禀警堂奉諭飭探訪總局實行捕拿該局當選精細勇敢探兵四名往稽查處偵察彭翼仲自槍傷委員後亦自知不免戒備頗嚴其家人及僕役等均在堂屋跺巡察視當夜自朱委員負傷到廳後稽查處之裏院竟無一人敢入窺探是時探訪局探兵見彭杭二人既已戒備未肯遽動候至五點鐘之久時彭杭俱有倦意疲勞各抱槍假寐時探兵有一人脫去鞋隻伏身躁進遞一撲彭翼仲於床上奪其手槍後有三兵一擁而進先捆彭次捆杭當時即送總廳辦理極爲敏捷一切人等均未稍有傷損彭翼仲立解往順天府杭辛齋尚在總廳不久亦將起解也彭杭之功名已經警部參革職亦彭杭一段奇事也聞朱委員右眼重傷已經送衛生局醫治云

但此消息係外城總廳員所言故錄登問世但彭君行兇之確否本館未詳姑存疑俟確聞

按本月十一日北京日報內載朱廳丞派汪侯朱々委員四人於九月初七晚往告彭杭言明日起解請收拾行李彭杭大怒各從懷中取出手槍指委員而言曰奈何今晚始告我乎四委員欲逃而彭杭兩家女眷圍守房門該委員不能出乃婉言相商至四點鐘之久卒不得已允許初八日不起解其事遂罷云云執筆人讀此一節不禁噴飯曰堂堂巡警總廳被威脅拘囚之彭杭不能實行其命令洵屬絕無僅有之事北京日報所記必烏有子虛之言詎料本日忽接到此報初知巡警總廳之威權實被彭君一人蹂躪者也夫彭杭兩君有咎乎無咎乎暫勿論但已因官命被拘巡警總廳則總廳當局者對付彭杭兩君宜盡其道接待兩君應極鄭重矣聞放門戶允友人出入自由起居入宿妻妾不必以縲絏之論咎之也然俾有罪科之兩君携帶手槍入官房於監查之法已失其宜况以手槍被威脅委員不能奪之一任其所爲遂激生此次之奇變彭君强暴不畏官威之罪固可咎而總廳失監查之咎最重外間傳說彭杭兩君罪狀不明清議因咎政府待彭杭兩君之過嚴並擬附會彭杭兩君罪名擅行構成沒由有之獄此說固係妄誕揣測之言雖然外間已有此言而此次之變突如其來爲外城總廳者關于對付彭杭之事應聲明一切情形以解衆人之疑也否則外間傳說紛紛執筆人遂不能辨其誣也

●注重常德航業　漢口函云湘省常德埠擬于日內實行開放故現在各輪船公司洋行等尤注重漢口到常德之航業太古洋行爲查察常德埠寔在商務測量漢常間之水道起見決計派輪船湘潭號駛赴常德該輪日前由漢解纜歷岳州入洞庭湖湖水淺處則輪底與水底相隔僅一英尺而已將擱淺數次航行甚難雖然終得無事横斷湖面溯於沅江抵常德蓋此爲外國輪船抵常德之始矣該埠商民異常歡迎據聞此次招商局亦決計開始由漢口至長沙之航業擬將往來廣東香港之輪船江通號航行於此然此消息確否未悉但江通號於日前從上海赴湘非徒爲試驗航路因湖南官紳陳某囑載運放賑米石從皖到湘耳

●擬訂中暹商約原因　聞有中國與暹羅協定商約之說探得其原因係由已調雲貴總督岑雲階宮保在粵督任時派員赴暹羅調查商務一切情形茲該調查員回粵據稱旅居暹羅華商約數十萬人惜中暹未訂商約勢多渙散查英法俄等國均與暹羅訂立通商條約是我中國亦應與暹訂商約以互保利權云云聞岑雲帥即據情電商商部云

●觀戰特函（第三函）　遭遇戰

●作戰第一次　初六日　兩軍開始運動

一、南軍獨立馬隊之主力　得支援步隊之援護將前面之敵馬隊驅逐之湯河（由湯陰之北竄走）迤北益進其軍而搜覓敵之情勢另由混成第廿九協作爲二縱（隊右縱隊步隊二營本縱隊步隊四營砲隊二營）于上午九點鐘先自前哨線起程向張蓋及楊村（並在本路東方約六華里）前進又由第八鎮作爲三縱隊右縱隊（步隊一標中央縱隊步隊二標砲二營左縱隊步隊一標砲隊一營）于上午九點鐘自前哨綫起程經史莊五里舖（在本路迤東不敷一華里）向韓村（在本路迤西約四華里）前進

二、北軍獨立馬隊　于上午八點半鐘由士得南下而爲敵之援步隊所抵制旋向木佛（本路東方約十華里）而退另步隊一標作爲右縱隊于上午九點半鐘自魏家營起程由本路向十里舖前進又由混成第一協（少步隊一標）併第五鎮之一標作爲中央縱隊于上午九點鐘自王官屯（在本路東約五華里）起程經家官屯向洪唐口前進又第五鎮（少步隊一標）作左縱隊于上午八點五十分鐘由馬官屯本路東約五華里餘（在王官屯之東方）起程經孫家薛莊向八張蓋前進

三、南軍馬隊併將支援步隊逐次前進至崇召終占領之于上午十點鐘將徒步戰進與北軍中央縱隊之前衞衝突各施放鎗砲以戰於是兩軍預期來日演生遭遇戰以故兩軍所有有各縱隊均在開始戰鬭之後努將其縱隊距離密邇接近以縮陣形盖集軍力以便大起衝突矣

雜報

●閨秀私奔　聞山東友人來云黃縣城東十餘里之東溝臺村劉姓某業農頗小康有一女年方十八歲才貌佳美鸞鳳未遂難免有思春之念而家規頗不嚴遂與其工人有私蓋劉雇有二工一年少者二十歲上下一年壯李姓三十餘歲已在劉家做工五年餘年少者做工二年餘與劉某家裏來往做活不分內外頗見重用待之亦優前曾與劉某之女眉來眼去以後即與之私通日久漸有罅漏遂被李姓知覺喝嚇此年少者竟將其情吐露李姓得其底蘊夜晚至劉女之住屋言說你與小夥計有闇昧之事否將其一旦清事當面質之該女听之一言不錯亦無可如何後李姓云將來我二人成魚水之歡則可不然明天即告與你父母知之還有對外喧傳劉女聽其言含羞無言半推半就遂亦成美事本九月初竟與李姓夥計夜晚私奔矣現劉家派人尋覓止在擾亂之際想二人已遠適樂郊以遂其永好之心矣

●學堂反對之村言　昨聞蓋平附近鄉村所來人民咸曰現今城鎮到處所立學堂雖屬第一善舉而貧家子弟將來皆目不識丁矣蓋入堂讀書除飲食等費四季衣裳靴帽全須一律同式并書籍筆硯概由學堂發給一切作價加以逐節之敬儀統而合計即須東錢參白吊其家貧無力者豈能辦此巨欵哉間有僞言者曰豈但此耳凡魯鈍性頑子弟竟入內讀書近年一無所得或有己之姓名幾不能書者惟長於奢華習於驕橫雄豪自恃莫之敢攖雖官場吏員鄉村耆老或小不加禮該生等動輒合羣凌侮以報之其父母亦鮮能箝制之者是故忠厚等家乃有欲其子弟就村塾讀書暫習孔孟仁義之學而貧民子弟無力入學堂者當童稚之年尚不致盡爲牧豎耳詎由今夏秋以來凡鄉村蒙塾概被官場并學堂人員全逼將館廢散使幼年子弟日與牧豎爲類游而他無所能慣習謾罵戲謔是其口頭伎倆之長恐如此將來該貧家子不儘爲野蠻氣象不止可勝歎哉可勝哉嘆旁有識者聞之曰噫斯誠無可如之何也已矣究之漢學之功可爲西學之基如使童穉之年子弟先習漢學爲程度待年稍長再藉進西學之階猶幸庶乎於中國之國粹不全湮失而貧家子倘可賴以讀書似乎可行也然而斯非在上者有以曲体輿情胡能成下民者其能如之何哉况聞學堂之工課較村塾之工課曠時殊多七日一禮拜歇課一日之間學不多時歇課若此則奢湯子弟欲望其三四年中西之功具有成也或難矣然則爲今之時其貧家子不能讀書則能如之何哉

資本金貳千四百萬圓
積立金一千參百七拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣

横濱正金銀行
（電話十番支配人室）（百八番事務室）
牛莊支店

來ル十一月三日天長節ニ付臨時休業仕候也
但シ關稅收納事務ニ限リ平日ノ通リ取扱申候

横濱正金銀行 牛莊支店

入札拂下廣告
一若布 外十一點
右本月九日牛家屯ニ於テ賣却候條詳細ハ當所ニ於テ承合セラルベシ
明治三十九年十一月二日
關東陸軍倉庫遼陽支庫營口出張所

營口 **同孚碼頭貨倉公司 告白**
本公司開創在青堆子河沿新建貨倉碼頭起卸各貨甚爲利便凡在各港指來之貨均可寄存本公司貨倉並租可貨借欵利息格外公道至於棧顧脚力保險等費俱甚便宜諸蒙光運請至本公司帳房商議是荷

特此聲明
本埠西所公順東上東海關辦事之人身帶印公組二字圖書條數張條上並未寫字不是支取銀錢之條乃是預備在海關起貨之用因不經心不知何時失落如此登報週知勿論中外人等拾之作爲廢紙

回回 **戴廷揚**
世傳外科 專治跌打損傷精十一切雜症善療無名腫毒包治揚梅大瘡
寓所西沒蓋營老爺廟東邊潮溝南沿本宅第四殷門牌二十六號

東清鐵道
大連長春間 下り 大連發前九・〇〇 時分 後六・〇〇 南關嶺發 一〇・〇四 七・〇四 大房身發 一〇・四三 七・四三
營平發 一〇・三九 七・三九 大石橋發前 一〇・五三 七・五三 海城發 一一・二九 九・二九 鞍山站發 一・五六 一〇・五六 遼陽發 三・二八 一一・二八
昌圖着 一二・五一 上り 後四・二九 開原發 六・二四 鐵嶺發前 一一・一一 八・一一
大石橋發 一一・〇五 八・〇五 營平發前 一二・二九 九・二九 熊岳城發 二・〇三 一一・〇三 萬家嶺發 三・四八 後一二・四八 得利寺發 五・〇八 二・〇八
大連旅順間 下り 大連發前 一一・〇〇 後 南關嶺發 一二・〇〇
大連着 九・五一 營口發 一〇・三一 七・三一 六・五一 下り
仙金營着 上り 六・四四 七・〇〇 南關嶺發 一〇・五五 七・一五
南關嶺にて乘換 大石橋 營口往復の者は大石橋にて乘換へ蘇家屯撫順線各驛往復の者は蘇家屯にて乘換へ
營口發正午 營口奉天間 上り 奉天午前 一二・三五 蘇家屯仝 九・四八 煙臺仝 一・二三 九・五一 新奉線下り 奉天發前 七・一〇 后四・一〇 新民屯着仝 一〇・二八 七・二八

安東縣市場通七丁目 合資會社 **秋田商會支店**
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、
洋鐵鋼 建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街 合資會社 **秋田商會支店**

森病院 電話一五五
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆赤垣はる子）
院長 醫學得業士 森 矯
副院長 醫學得業士 長船郁太郎
森病院

各位益御盛業の段奉賀候
弊商行儀
今般仲次業を開始仕候に付各位の御便宜を謀り叮嚀迅速に取り扱ひ可申候間不拘多少御用命の程伏て奉希上候

銘酒
百合正宗 鵬翼 大樽 四斗四升入 並ニ 瓶詰 一手販賣
合資會社 **永嶋商行**

營業課目
一雜貨類 一罐詰類
一荒物類 一乾物類
其他何品にても御注文に應す
本店 大阪市東區平野町五丁目
出張所 營口元神廟街（電話一四八番）

營業項目
一定期預金（長期存欵） 三ヶ月 五分 六ヶ月按年五分五厘 一ヶ年 六分
一當座預金（暫存欵） 按年四分五厘 日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存欵） 按年五分一厘 日步一錢四厘一毛
一送金爲換取組先（滙兌） 東京、横濱、大阪、神戶、長崎、上海、天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利） 一般財產並に土地建物の管理を引受くること
一附帶ノ業務 不動產抵當貸附金の委託を引受くること

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）

正隆銀行
軍政署認可
支配人 深水十八
電話二百十番

を號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣

官許 **銃砲火藥販賣業**
內外各種卸小賣
西營口西大廟街第五号ノ二大有棧東手
辰正商會 伊瀬知辰彦

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿綠布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克己並兼貨具價實誠信相孚以致敝行名譽日增招徠日廣所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助 謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
設在營口西北街路南
正理事 潘玉田 副理事 金德魁

仁裕號
營口西大廟街路北營乙第十三號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

日本官造紙煙
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙敷島、大和、朝日、駱駝、雙仙鶴、利利、捷利、斯達、蝙蝠、及煙絲各種
營口元神廟街（電話一〇一番）
日本官煙營口專賣處
西營口代理店 大德元

青磚 紅磚 白灰
發賣廣告
本窰專煉青磚紅磚石灰運銷各處貨美價廉批賣大宗依期交貨不悞ミ顧紅磚青磚每個長八寸八每千定價洋十五元石灰每百斤價洋九角俱管河沿交卸格外從廉以廣招徠如蒙賜顧請至河北寶源公司或本地西北街河傍營鐵廠內寓本櫃面訂可也
營口 華昌磚窰 三合成灰窰 仝啓

各車站均設分局裝運貨物速達安全運賃格外從廉
白川鐵路通運公司
本店營口西北街一四〇 電話（本店百七十號）（牛家屯百八十五號）

三井 電話 第六十六号 第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○**發售新到洋白糖**

倉庫部 經理
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

○**明治火險公司**
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○**發售 日本白米**

○**東京水險公司**
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹郭漁笙朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂偏於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

新到北京廣**西山上等青灰發賣**
營口西北街東申棠內同元灰局謹白

營口商業學校招入學生
宗旨 造成辦公實業家
學科 修身、漢文、詞章、尺牘、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額 五十名
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿舍生自備饌費餘者本校墊辦
入學 陰曆八月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱
本學校由客春開學以來肄業諸生頗志成效茲因添設講堂增築宿舍應需器具種種完備茲擬添入新生以廣教育有著入校者速來本校報告投稟以便收入爲

營口商業學校 日本人夜學部 **學生募集**
●九月十日授業開始
●自午后八時至九時

生徒募集
今般本院に於て在留邦人高等小學科兒童を募集す入學志願の者は至急本院に就き照合手續を爲すべし
營口 **瀛華實學院**

瀛華實學院招入學生
本學院肄業諸生着有成效茲擬添募新生以普教育有志向學者可速到本學院投稟註冊以便定期入學其程度要必畢業小學或粗通文理者爲合格稟帖程式可到本學院索閱本院長每早九鐘至晚兩鐘在本學院恭候此白
瀛華實學院諭

隊軍用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
御小賣
石原商店
其外新荷着精々安價
營口永世街七十號（第東市販賣二一

りん病（醫藥學細菌學應用萬國陸海軍局方參照）
せらかち
ボーコーカタル
即ち 花柳病の特効新藥

藥價 三日分 三十戔 七日分 五十戔 十七日分 壹円 小包料十戔
韓各有名藥店 取次全國各地及清
大阪江戶堀下通三丁目 本家（電話西千五十九番）
〔安々堂藥局〕

複方 **痳病丸**（白濁藥）
此藥嵩治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速
批發所 營口永世街警務課東隣
回天堂大藥房（電話百九十號）

周 **鐵道河運 裕和盛運輸局**
（電話八十一號）
在東營口西北街廣昌洋行對門
敬啓者本号向在日本長崎創設數十年分店在朝鮮國漢城仁川木浦並臺灣中外雜貨食物器具酒烟兼代客報關裝卸船車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分司各外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 謹
運輸部主任 高濱麟太郎 啓

各種 **獵銃**。各種
官許 **獵具**。
本國製 ミツレー
新發明 一分鐘開十發 連珠器
玉突用具 各種
寶 營口永世街 **寶昌洋行**

告 日本酒 ケンビシ 奉天 遼陽 池上出張所

營口永世街第六十八號金城館南隣 博愛醫院 院主 久保宗太郎

……は格外廉價に販賣致候 東青堆子三井倉庫脇 淡谷木局 加へ清潔を旨とし防寒に適する樣設備仕益々懇篤叮嚀にお取計らひ可仕候に付倍舊の御愛顧奉願上候

月　日　三日月

講談

復讐美談 譽れの襷（第三十六席）

桃川實講演

其内に大勢の御家來方に於ては、お庭先へパラ〳〵ツと立出でまして、其處此處と尋ねて居る様子、五左衛門は早くも元の塀際へ飛んで參りまして、松の枝へ手を掛けて今しも外へ下りやうといふ、其途端に驅來つた一人「曲者」ツと一聲叫んで繰出す鎗先へツト驚いてヒラリ躰を轉し、流れる鎗の螻首をムザと掴んで見下ろす時、下から見上げた彼の武士、折しも三五の月皎々と照渡りて恰も眞晝の如く、此時五左衛門が面を包んで居りました覆面、沖合より吹來る風にフワリと取れ、思はず兩人顔を見合せた、是即ち上杉名代の御家老千阪兵部と申しまする人物、山鹿甚五左衛門の門に入つて井庭五左衛門とは兵學の友、南無三と五左衛門大きに驚いた時に、兵部大音を揚げ 兵「アイヤ各々、曲者は彼方へ參つた、ソレ其方へ行つた」といはれて、後れて來た一同、彼方の方へパラ〳〵と飛んで參りまする、此一言を聞いて五左衛門心に喜び 五「御芳志千万忝じけない生涯に一度御恩返しをいたすでござらう」とヒラリと下へ飛降り、石垣に繋いで置いた小船に打乗り、艫を押切つて漸々の事で我家へ歸つて參りました、此方は芝浦の酒井の屋敷、庭内を捜索したが曲者は何れへ行つたかトンと姿が見えない、處が杜へ通つた小柄を御近習が抜き取つて、是は後の證據何かの手掛りにもなりませうから、手前がお預り申すと懐中して退りました、お客方に於ては何れもお屋敷へ、お歸りになる雅樂頭様も其翌日お上屋敷へお歸りになりました、五左衛門は中門前の道場へ立歸りホツと一息吐て考へた、何も雅樂頭を討損じた様子、殘念な事をいたしたと頻りに無念がつて居りまする、扨兩三日相經て酒井の屋敷から先達て御息女おいと殿、芝源助町で狼藉者をお取押えになつたお腕前を主人大層感服いたし、どうか屋敷へ奉公に出るやう取計らへと申付られてござる、雅樂頭お奥へ御奉公にお出下さる譯にはなりますまいか」といふ口上、五左衛門考へたのは、此間の一件、豈俺の所業と氣が附きはすまい幸ひ娘を酒井の屋敷へ出して傳手を以て出入をなし、折があつたら今一度恨みを晴さうと深く考へたから 五「不束の娘に惡ろのお言葉を賜はり誠に有難き仕合せ、仰せに從ふでござらう」と爰でおいとは早速酒井の屋敷へ出まして、八重梅と名を改ため御奉公をいたす事になる、處が雅樂頭忠清公お年を召して在せられまするが、何日か八重梅の容色勝れましたのがお氣に協ひ、御酒宴の席にお召しになつて二三度お戯れを仰しやつたが、中々物堅い八重梅肯きさうにもいたしません、諺にも餅屋は餅屋と云ふ事があるからな、老女の勝浦といふ者へ御沙汰になりました、爰で御老女が段々雅樂頭様の思召しを物語つて説付けましたがどうしても承知をいたしません 勝「どうも物堅い婦人で、私しの手には迚もいたしかねます 雅「左様か、如何にも殘念の次第だがどういたしたら予が心に靡くな、其方宜い考へはないか 勝「御意にございます、種々と説付けましたが、私の申す事はトンと用ひません、寧そお手詰の御談判を遊ばしては如何でございます 雅「ハア然ば其方案内致せ 勝「委細承知いたしました」頓狂な老女もあつたもので、其晩二三名の婦人が前後に付添ひ、八重梅の部屋へ參りました 女「八重梅殿 八「ハイ 女「お上が成らせられましたゆへお出迎へ遊ばせ 八重梅驚いて間の襖を開く〳〵と、雅樂頭様ズツと座敷へお這入り遊ばす、慌だしく夫へ兩手を突いてお禮を申上げる、流石に差向ひでは極りが悪いか 雅「コレ〳〵勝浦是へ參れ 勝「イエ私しは是で御免を蒙むります、只御案内を申上げました丈で」と一同の女中はドン〳〵引退つて終つた、仕方がないから雅樂頭様 雅「コレ八重梅、今宵其方の許へ參つたは申さずも承知であらう、何分にも其方を忘れ兼ねる、惡きやうに取計ひはいたさんに依つて、予が心に隨ふやう 八「恐れながら思召しは有難く存じまするが、此儀ばかりは平にお斷り申上げまする 雅「何故予が心に靡かん 八「ハイ私くしはお上のお伽をいたす心得で、御奉公に出ましたのではございません、夫ゆゑお斷り申します、お上はお子様も數多あらせられ、別に婦人の御用はない筈で、私し風情へ左様なお戯むれを仰せられるは以の外、上一人お好みになる事は下万民是を習ひまする、重きお役柄をお辨へ遊ばし、以來右様なお戯むれを仰せられませんやうに」。

●支那に於ける日本教師の不評

清國各地に於ける日本教師は著しく其數を増加したるも其の聲價は反比例に益々下落しつゝあり是は文部省が教師を清國に送るに際し人格及び漢文の素養に重きを置かず内地に於ける失職者の爲めに販路を求むるの實状ありて中には教科書事件の汚點ある者も尠からざるより何時しか此等事情が清國學生の間に知れ威厳を失墜したる上且は人格高からず漢文の素養なき爲め輕侮を速くこと重なる厚因なり之に反して陸軍部内より送られし教官は何れも人物學術共に優秀にして參謀官として資格あり且つ漢文の素養あり大に其信頼を博し教官の職務以外にも種々の方面に重用せらるゝ傾向あり言語習慣相異れる學生を教育するは其の困難固より内地に於て就職すると同日の談にあらざれば今後は十分其の選擇に注意し特に人格崇高にして漢文の素養あるものを選み其任に當らしむるにあらざれば我國の啓發に任せる清國の教育事業も前途太だ憂ふべきものなからずや是最近に歸朝したる某教育家は語れりといふ

新荷着 灘河東本家釀造 清酒稻正宗 正味（四斗六升入 二斗三升入） （電話二〇） 盛進商行

●三家子の煉瓦工場

牛家屯三家子の煉瓦窰は獨乙式最新の輪環裝置にして工場の面積は約七万五千坪あり滿洲に於ける模範窰として稱せられ居たるが今回當市の泰東公司は之れを拂下げて直ちに煉瓦の製造に從事し一ヶ年優に一千万個以上を産出し得べき見込ある由又其品質の佳良も内地產以上に在りて之れに加ふるに來春解氷後に至らば更らに新式の素地製造機械を据ゑ付くる由なれば全部完成の曉に至らば刮目して見るべきものあらんと云ふ

●韓國の土地所有權

韓國移民の土地所有權は素より法律を以て指定したるものにあらざるを以て從來の縁故若しくは古記録等に依りて本人自分も所有者と任じ官憲も又た之れを認めて勝手に賣買するを許しつゝあり然るに近來日韓人間に右の賣買に關し往々不正の手段行はれ雨者共迷惑を生ずること少なからざるより今回土地所有權に關する參考法律を設くることゝなり不動産調査會なるものを組織し梅法學博士全委員長となり專ら調査中なりといふ

●祝賀會餘興のいろ〳〵

▲宴會時間 宴會場は既報の如く新市街地新築倶樂部に於て午後一時より（日本時間）開催せらるゝ筈なれば招待状を受けたる人々は同時刻以前に同所に參集さるべし

▲撃劍取組 當地在留の劍客諸氏は午后二時より餘興場内の南方に於て懸賞撃劍の仕合ある由にて既に定まれる取組は左の如くなりと

村井初三郎	早瀬武四郎
畠山巳之吉	柿崎末四郎
津田義七	島名福十郎
岡部和次郎	桝田元重
中島勇一	宮部力次
荻原正記	小玉卯太郎
手塚安彦	堀佐藏
里澤重雄	増田岩左衛門
辻本鶴太郎	吉井清一
横本清愼	千葉胤麿
飯田八十馬	
上田大亮	

勿論此外何人にても飛入勝手次第たるべし

▲白轉車大競走會 日は天長節餘興として祝賀會式場に接近せる旭ホテル西手に於て白轉車大競走會を開き嶄新曲乗競走ある由但し何人も會費を要せず又飛入り競走勝手次第たるべしと

▲軍艦家 牛家屯鐵道輸送組合は軍艦家台を造り鼓、太鼓、三味線等各種の鳴物を加へて花々しく式場へ乗込むと云ふ

▲料亭主人連の催し 〃館料理店主人連が藝者連の向ふを張らんと御氣作用明治の聞所なる滑稽劇を演ずる事は既に記述したるが當日出演料亭主連は左の十一軒なりと 第三樓、金城館、日本館、祇園閣、東京樓、大和館、一力、柳亭、第一樓、万梅、万直し

▲消防組の梯上り 營口消防組は本日午前十時より第一憲兵派遣所内にて勢揃ひを爲し同十一時より〃場に乗り込み梯乗りの曲藝を演ずと云ふ

▲支那芝居と手品 支那人來賓の爲め同式場内にて支那芝居及び同手品の餘興ありと

▲第三樓店員の催し 祝賀會とかお祭りとかには狂人の如くなつて大騷をやらかす第三樓の若者は今度左の如き俗歌を作り之れに合して大勢の男衆が手踊を爲すと

營口新市街で今日の祝さん餘興が出來て私しや元より
ぶきようなもの、下手な身振もはやしにからみつき、そ
こで私もまけぬきで飛だし、されは皆さんおいようの
御見物、これで宜か〳〵おとり、振か下手で
も何か何んでも、踊れは祝たよ、共に祝せん天長節を、
官民一ぞつて萬歳を歌ふやんれいな軍政領事に市民
もとも〳〵 天皇の佳節で式場は盛會コラ萬歳〳〵

▲模擬店 式場内の各所には酒、おでん屋、壽し屋、菓物屋、菓子屋、饅頭屋、うどん屋を設け各自好む所に趣き飲み喰ひ勝手たるべしと

▲煙火の打揚げ 今午前七時より十一時まで軍政署附近に同十二時より六時まで新市街會場附近に全午後八時より十時まで軍政官々舎附近に同十時より官舎門前にて何れも仕掛煙火を打揚ぐる由なるが其數實に三百餘發なりといへは定めて非常の壯觀なるべし

●本日の夜會

與倉軍政官主催にかかる夜會は午後九時より催すべく既に本邦人及び在留歐米人の主なる人々に案内状を發せり

▲案内狀と注意 夜會に招待せられたる人々は内外各官衙の高等官民間の紳士紳商等にして何れも令夫人同伴の招待狀を發したりと云ふ其服裝男子は燕尾服又は羽織、袴夫人は白襟紋附にて然るべし

▲祝宴場と奉祝 祝宴場は軍政官々舎の廣間にして宴會の順序は先づ「君か代」を吹奏し了つて一同シャンパンの杯を擧げ軍政官の發聲にて 陛下の万歳を三唱しそれより立食の宴に移るべし

●紛失物の懸賞捜査

此程の紙上に財布の行衛と題せし記事中に見へたる米人ペインは財布の中に大切な品物か入れありとて今回發見者には五十圓の懸賞を爲すこと〻し廣く其捜査を爲すといふ、因に前日の紙上にペインが元神廟往の赤行燈にて遊興せしと記せしは誤聞なりしに付き此點は取消す

營口物價重要表（二日）

●太米 一石	出來不申	●洋麪	二圓二三
●豆類（一担）新黄豆	七、二五	新青豆	六、七〇
新黒豆	五、八〇	白小豆	八、二五
●豆粕（十枚）	二圓二〇	●豆油	一〇圓一〇
●綿布類（粗布一疋）大鹿甲	四、三〇	曦狗頭	四、〇〇
藍大牛	四、〇三	元馬	三、七五
三兎	三、六五	馬狗	三、六〇
跑馬	三、六〇	（打連一疋）	
眞龍	四、一〇	老人馬	四、〇九
老双兎	四、〇三	眞馬	四、〇三
●綿糸（一捆）藍魚	九三、五	立馬	九三、五
鐵毛	八五、〇	紅劉海	六九、〇
船橋	七〇、三	彩美人	六七、〇
人担茶	六六、五	紅人竹	六六、五
四仝人	六八、〇		

爲替相場（二日）

正金銀行	買	賣
內地	一一一圓〇〇	一〇九圓〇〇
上海 軍票百圓ニ付	七二兩五〇〇	七二兩七五〇
天津 銀百弗ニ付	一〇三圓二五	一〇四圓二五
芝罘	一〇三圓〇〇	一〇四圓七五

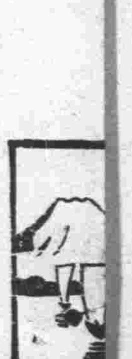
本埠通貨相場（二日）

正隆銀行	受	拂
銀貨百圓ニ付軍票	九一圓〇〇	九四圓〇〇
金貨	九五圓〇〇	九七圓五〇

過爐銀貨一兩ニ付軍票一圓三十五錢一厘〇

郵便局軍票一圓ニ付金一圓〇八錢一厘

支那錢舖	受	拂
大票	一〇八、八〇	一〇八、三〇
小票百弗ニ付小銀貨	一〇八、五〇	一〇八、〇〇
墨銀	一一三、二〇	一一二、五〇



最高温度五十三度八 最低温度三十四度九 昨年より 高四度七 低五度二 昨日の氣温

鳥海艦乘組員へ寄贈品芳名

金壹圓五拾錢也	與倉幹子
金壹圓也	瀬川郁子
金仝	久賀福子
金仝	松井貴子
金仝	増田歌子
金仝	村田金尾子
金貳圓也	山縣マス子
金壹圓也	井上元子
金仝	井上代志子
金仝	神野道子
金仝	田邊操子
金仝	三野米子
金仝	岸田ユキ子
金仝	粕谷ヒサ子
金仝	淵上ユミ子
金仝	齋藤鈴子
金仝	山本カズ子
金仝	田中トク子
金仝	西村ワカ子
金仝	寺本チカ子
金九拾錢	橋口サダ子

計金貳拾貳圓也 寄贈品及諸費ニ充ツ

營口本願寺出張所内

十月廿七日 營口佛教婦人會

公園設計圖案懸賞募集

今回新市街に設置する公園當地に於て得らるゝ材料を以て多大の工費を要せざる設計圖案を募集す當測平面圖は當署土木課より當撰者には左ノ賞金を與ふ希望者は來る十一月十日迄に提出すへし

壹等 銀參百圓

貳等 銀貳百圓

營口軍政署

公 電話交換手募集

當局電話交換手を募集す志願者は（滿十七歳以上二十五歳迄にして高等小學卒業若くは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人男子に限る）志願書に自筆の履歴書を添へ携帯出願すへし

明治三十九年十一月 營口軍政署電話局

日本郵船會社瀛船出帆

營口丸 定期終航船 十一月九日 太沽芝罘門司神戸行

浦鹽丸 臨時船 七日入港の筈

大連出帆 横濱丸 十一月八日 門司宇品神戸行 乘船切符發賣は出帆前二時間切ノ事 今明出港ノ分ハ前日午後五時マデ

營口 代理店 旗昌洋行 電話二六番

大阪商船會社汽船出帆

大連出帆 大義丸 十一月六日午後四時 門司神戸大阪行

開城丸 十一月十日同

代理店 營口公園地横 電話二十三號 ブツシユ兄弟商會 遠來洋行

瀛船出帆 御[illegible]丸 十一月三日大連門司行

松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（船舶部五二 倉庫部五七）

鐵嶺 會席御料理 葛城館 西門外大街 室内清潔取扱は至て親切 電話申込中

鐵嶺 會席御料理 九洲館 火神廟街 室内整頓美人は新來價格は廉直

活料理 離坐敷落成 惠比須 鉄嶺 西門外 美人新輸入 大勉強

恭賀天長節 營口元神廟街 御料理 柳亭 （電話四二）

新築落成移轉廣告 弊店從來白塔下ニ於テ營業罷在候所都合ヲ以テ左記新築地家屋ヘ移轉仕候間相變ラズ舊ニ倍シ御愛顧賜ハリ度殊ニ湯殿便所等ノ設備ハ勿論取扱万端懇切ナルハ聊カ弊店ノ特色トス所ニ有之候條一度御投宿ノ上御試驗下サルベク候 造ノ玉突場ハ内地風ニ新 營陽西外通り西へ入る 指定御旅館 遼塔ホテル 店主 木村常吉

料理 **一力** 營口元神廟街 店主 堀万助

旅館 **東京樓** 營口新市場前（電話一七六番、四番） 館主 熊田粂次郎

料理 **翁亭** 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

旅館 **大和館** 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四番 店主 田島彌助

旅館 **東雲旅館** 營口永世街七號 店主 谷口今朝太郎

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下 **遼塔ホテル**
仝城内東街 **遼東館**
仝城内西街 **滿洲ホテル**
仝城外西門外通 **藝陽亭**
仝城内北街 **滿洲館**

移轉御披露

弊亭儀従來邊鄙の處にも不拘御客樣の御引立を蒙り日増し繁昌仕候段奉深謝候就ては今回元神廟街元酔月跡へ移轉仕尚一層御便利を計りお取扱萬端誠實に諸事勉強可仕候間何卒倍舊御愛顧を賜り度御披露旁ゝ此段奉願上候 頓首

柳亭（電話四一）

勉 鐵嶺西門外南 親
生そば うどん **朝日亭**
會席御料理 **朝日舘** 舘主 北田卯太郎
強 玉

移轉廣告

弊店儀是迄二本町に營業致居候處今回左記の所に移轉し十月廿九日より開業致候間従前の通り御引立被下度候也

會席御料理并に仕出請負 營口新市街 **日本館**（電話百三十）

各位樣

奉天小西關大街北側 商人御定宿 **瑞豐館** 館主 河野嘉吉（電話□）

奉天兵站部指定 旅館 奉天小西關大街路北 **茂林館**（電話二十五番）

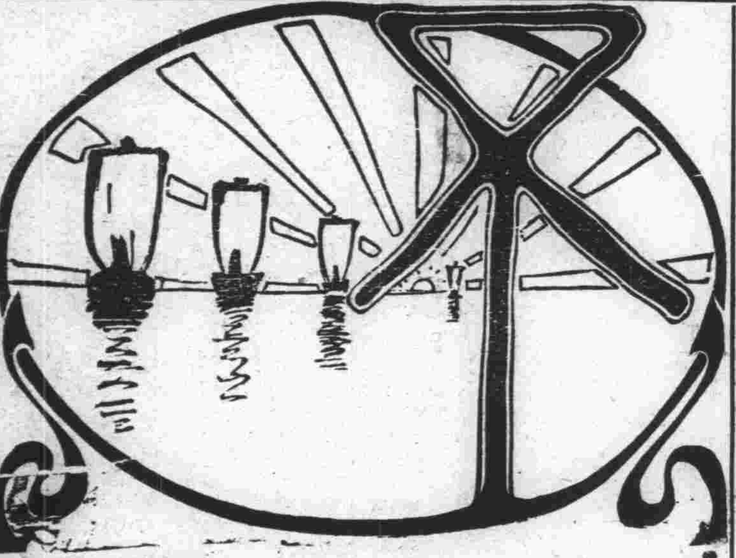
奉天小西關第五分局八一〇 御定宿 **第一東京館** 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

旅館 料理 奉天大西關 **扶桑館**
今度室内に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戯場を増設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候

御旅館 御料理 鐵嶺西門外大通り **松島館**
室内清潔お取扱は叮嚀價は廉直美人澤山

盛海洋行 營口永世街 玻璃 玻璃器

防長白米 石炭 木炭 疊 味噌 板類及木材 鮑罐詰 醬油 醬油
銘酒白鹿大販賣
㊦ **丸藤洋行** 營口元神廟街二二九（電話四七） 井上廣平



貨物運送業 各地支店あり 迅速叮嚀に取扱ふ
㊞ 營口西北街 **裕和盛號** 電話八壹番
各國雜貨煙草卸小賣 大連 湖北 南洋 彩票代賣

指定御旅館

遼陽城内東街 **東洋館**
仝城外西門街西へ入る元遼山館跡 **第二東洋館**

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般
喜川鐵工所

御旅館

多期設備悉皆相調ひ御料理の儀も精々念入調進可仕候に付何卒幾久しく御贔負の程願上候
館主 六鵜アサ
青堆子新市街 **旭ホテル**（電話二三五番）

上海 **中井洋行** 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂包棉紗料之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票有願購其他各件紙張日本機器連史紙五彩印字憲墨一切統由本行出售貴客至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

滿韓境上唯一樂園 **五龍背温泉**
安奉鐵道五龍背驛にて下車 安東縣より一時間餘賃金四十錢
温泉場は五龍背驛の南二丁 靈泉如玉 效能顯著 眺望絶佳
●當温泉に御用向の方は安東縣天佑公司（電話六一番）へ御申越被下度候

ばら齒磨 と ぼたん石鹼
良質にして廉價
加藤洋行

滿洲啓發 **東清時報** 急先鋒
滿洲唯一の書人 週刊新聞 初號 十月初旬發行
時事を諷し趣味を饒にす 掲ぐる處 時事評論人物月旦文藝叢談諷刺畫漫畫等
初號には懸賞小説ポンチ畫を募集せり
發行所 清国營口 **東清時報社**

あくて甘ひ さつま汁 **千鳥** 元神廟街 改良高等 御料理 店主 吉住善藏

會席御料理 鐵嶺北門外 **藝陽館** 材料は新鮮座敷は閑雅美人は澤山

西洋家具製造販賣 營口永世街 鐵嶺西門外 竹細工 神仏杉類 繪はがき 御小賣

防寒用アミ上靴八圓から 普通アミ上靴七圓から 室内用實用スレッパ八十錢
靴製造販賣 右原料ヲ撰ビ堅牢廉價ヲ旨トシ御注文ニ應ジ迅速叮嚀ニ調製可仕候
營口元神廟街平岡組前 **袴田靴店**

官製烟草

福壽草 白梅 あやめ さつき はき 敷島
大和 リリー スター チェリー ロングライフ
外ニ和洋雜貨罐詰類 ベルモット ウヰスキー ブランデー ビール各種 宇治茶 舶來菓子 エジプト

奉天小西關大街北側 **千賀洋行**
奉天鐘樓大南街大南門内西側 **千賀洋行第一支店**

鐵嶺 **陸軍御指定旅館** 西門外火神廟街 **髙砂ホテル** 主 片山宇三郎

祝開店貳週年大割引

英國製自轉車營口直輸入 **最新式新荷着**
◎ハンバー自轉車
◎ヘンバーインペリヤー
◎シンガー紳士用
附屬品各種。修理。貸車中古自轉車安價販賣諸機器機械修繕
第一支店 營口元神廟街
第二支店 大連伊勢町
第三支店 奉天城内鼓樓南大街
本店 日本名古屋市
松岡自轉車商會 電話三〇五番

唯一飲料 **金露** 着荷
白米 鹽魚 乾魚 乾物類 **各種**
大賣出 **滿昌和** 鐵嶺西門外

金物類 建築要具 椅子テーブル 疊、建具 花莚 白毛布 布團類 諸紙文具 食料品 乾物干魚類 罐詰類 雜貨色々 新荷入着

移轉廣告
㊂ **石光洋行** 營口新市街
弊行儀是迄西北街ニ於テ營業罷在候處今回新市街ノ北象ニ建築中ニ家屋落成ニ付十月廿四日ヘ移轉仕候ニ就テハ以後従前價格ヨリ **一割引** ヲ以テ販賣可致候ニ付倍舊ノ御引立伏テ奉希上候

梅毒 婦人科 外科 胃腸病 **專門日本醫院** 病室整頓 輙便入院 嶄新器械 大小手術 **電話開通二二一七番**

活版名刺 印章彫刻 ゴムイン 廉價 迅速 奉天小西關二十八号 營口新市街